

かみのもとじんじゃ おおすぎ
神元神社の大杉

木の幹の周り5.6m、高さ42.3mの大きな木で、樹齢(木の年齢)は約350年と考えられています。神さまが宿る木として大事にされています。神元神社には、須佐雄神、高皇産靈神、神皇産靈神がまつられています。

行った日



さえくさいたびくん
三枝草板碑群

南北朝時代の元中3年(1386)につくられました。高さ1.89m、幅は底の方で50cm、厚さ25cmの石の上の部分に、蓮華の形をした台座に右手に杖、左手に宝珠を持って立つ高さ48cmの地藏菩薩立像が彫られています。

行った日



さのてい
佐野邸

正徳元年(1711)、姫路城の殿さま神原正邦から新しい田をつくるよう命令されてこの場所に移り住んだ佐野玄意近春の住宅です。長屋門、母屋、土蔵、庭園などの大ききから、その時代の庄屋とよばれる人たちが豪華な生活をしていたことがわかります。市の文化財に指定されています。

行った日



てんじんしゃ
天神社

菅原道真、須佐雄神、大年神がまつられ、江戸時代ごろまで加谷(鹿谷)天満宮または前之庄天満宮とよばれていました。もとは、天神社の西にある小天神という小さな山にあった天神山城の守り神としてまつられていました。

行った日



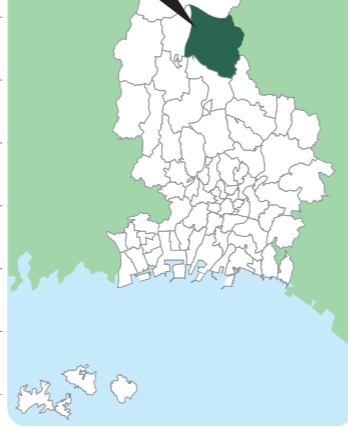
ばんじゅう じざんはいじ あと
万丈寺山廃寺跡

昭和47年(1972)、お寺の基礎となった石十数個と瓦が発見されました。基礎の石には直径60cmの円形に整った自然の石もいくつかありました。発見された瓦は瓦をつくるときに張りつけた布の織り目の跡がついているもので、専門家は、白鳳年間(645~709)にあったお寺の跡だと考えています。

行った日



まえのしょうちく
前之庄地区



まえのしょうちく
63 前之庄地区

古い道標が残っていますね。道標は、道の分かれ目などに立っていて、旅をする人に目的地の方向や距離を教えてくれるものです。現在、道標と同じ役割をしているものは何か考えてみましょう。

しら 調べたこと、 わ 分かったことを か 書いてみよう!



- 遺跡・史跡、歴史上の名所
- 神社・仏閣、歴史的建造物
- 歴史上の人物など
- 祭り
- 伝説・伝説行事
- 美術品
- 伝統芸能 など
- 景勝
- 生物・花
- 町並み
- etc その他

ひゃくじょうざんりんざいじ
百丈山臨濟寺

南北朝時代の天授5年(1379)、播磨地域を守る赤松義則に招かれた別峯国師が開いた禅宗臨濟寺派のお寺です。今の本堂は姫路城の殿さま松平直矩が延宝3年(1675)に建て直したものです。

行った日



まつのもとどうひょう
松之本道標

「右たじま、たんご道、なれあい二十四里」と彫られた道標です。ここは書写山から成相山へ向かう昔の道で、三枝草へ向かう道と三つに分かれる大切な場所でした。場所を移されてしまった道標が多いのですが、これは昔のままの場所にあるたいへん貴重なものです。

行った日



みょうじんざん
明神山

高さ668mの明神山は、昔から「播磨富士」とよばれています。山の上から360度見わたすことができ、晴れた日には瀬戸内海や明石海峡大橋も見えます。山の上には、さかさ富士で有名な岩屋池があって、神秘的な明神山の姿が写しだされます。

行った日



ゆめさきがわ
夢前川

夢前川は、鹿谷校区の北の端にある雪彦山から流れ出て、海までの長さは39.8kmあります。紀貫之が「現にはさらにもいはず播磨がた夢さき川に流れてもあはん」という短歌をよみました。上流では、春にはお花見、夏には川遊びや鮎狩りを楽しむ人たちがでぎわいます。

行った日



ゆめ ゆめ のうぎょうこうえん
夢さき夢のさと農業公園

平成4年(1992)にオープンした貸し農園や果樹園、レストランなどがある総合施設です。平成6年(1994)にはコテージ村、平成10年(1998)にはハイキングコースが整えられ、レストランでは、地鶏料理や地元でとれたそばを使った「夢そば」が人気です。

行った日

